

2012年 月 日

経済産業大臣

枝野幸男 様

[国会事務所] (FAX) 03-3591-2249 [地元・大宮事務所] (FAX) 048-648-9125

福島第一原発事故が未だ収束せず、国会による事故調査委員会による検証もはじまったばかりというこのタイミングで、大飯原発3、4号機、伊方原発の再稼働手続きが急ピッチで進んでいます。

原子力安全・保安院は、ストレステストの審査の判断基準を「福島原発事故を繰り返さない」としていますが、そもそも、福島第一原発事故の原因究明もなされていない中、「福島原発事故を繰り返さない」ことを、どのように説明するのでしょうか。

このような安易な手続きは、福島原発事故の軽視であり、いまだ多くの人達が事故の影響で苦しんでいることを考えれば許されるべきものではありません。

また、利益相反委員の影響下にある意見聴取会や原子力安全委員会などによる、技術論に終始した議論は、多くの関心ある国民の懸念の声を踏まえたものではありません。

原発運転の再開の判断に当たっては、関心を有する国民の声を幅広く聴取して下さい。おざなりのコメント受付ではなく、きちんと国民に向かい合って説明し、意見聴取の会を開いてください。

原発運転の再開の判断にあたっては、国会の事故調査委員会の結果を踏まえてください。

その上で、原発の事故の影響が及ぶ可能性のあるすべての自治体および住民に、十分な説明を行い、意見を聴取してください。

以上、ご検討をよろしくお願いいたします。

氏名：

住所：

連絡先：